



## 祝辞

この度は、第37回玄海旗中学生柔道大会の開催、誠にありがとうございます。

玄海旗中学生柔道大会は、1986年から続く由緒ある大会であり、オリンピック選手や世界選手権のメダリストなどを多く輩出していると同っております。大会の組織及び運営に携わっていらっしゃる皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を乗り越え、今大会を開催いただきましたこと、そして、何より、ポーランド及びウクライナの選手団を温かく受け入れて頂きましたことに対して重ねて御礼申し上げます。

ウクライナは、引き続き、非常に困難な状況に直面しております。ポーランドを始め、国際社会が、ウクライナの今後の復興支援に向けて努力している中、日本のスポーツ界でも今大会の開催を含め様々な支援活動が行われていることに対して、在ウクライナ日本国大使として、心より敬意と感謝の意を表します。

大会に参加する中学生の皆さん、

皆さんは、大会だけでなく、練習やその他の研修を通じて、ポーランド及びウクライナの選手と大いに交流を図っていただければと思います。柔道をはじめ、スポーツには国境はありません。皆さん自身が、国際交流の主役であり、ひいては、ポーランドとウクライナと日本の将来の架け橋になってもらいたいと思います。

最後に、あたらためて、今大会の開催を祝すと共に、柔道を通して、ウクライナ、ポーランド及び日本、更には、国際社会全体の友好と親善の輪がますます広がることを祈念いたします。

令和4年9月23日

ウクライナ駐劄特命全権大使

松田邦紀